夕刊
七月十七日 發行
定價（郵税共）一ケ月金五拾錢 六ケ月金三圓 大人五拾錢 子供五拾錢
廣告料 一段一日金六拾錢 二段一日金九拾錢 三段一日金一圓 特別地 一段一日金一圓 二段一日金一圓五拾錢 三段一日金二圓
發行所 碧城新聞社
東京麻布区一〇六五五八番
日曜祭日發行休刊

信濃の山

山崎義男

僕は只一人、ピッケルを脇に岩板の間を縫つてゐる黒い石魂のやうにタケガラスが深い谷を隔てて行く……。

岩山の下の、青葉の下の山村の下の……街々では汚れた生活が汗みどろになつて轉げ廻つてゐる。山に登ることは高い高から生活を見下すことである。その中に蠢めく自分、表すら眼に發見して愕然とすることがある。

眼を射るやうな反射の物が変錯して迫る。穂高の中なる崇高と言へる。狹苦い都會の塵埃は罪惡の生産物をも知らぬが、峻嶮に罪惡は栖み得ない。僕にも神性といふものが潜むとしたら、山に於てのみ把握得るそれだ。穂高は男性的な山々の一つである。岩から岩、風化落石、霧つかがチムニーなど、この山からは若人の血が湧き出てゐる。更にこの山の飛騨側の峡谷と信州側の温容とは何か面白いバランスを持つてゐる。

×

觀念的な白馬と女性の連鎖は排されねばならぬ。乘鞍から平湯に下る途中の桔梗ケ原には悪性毒獄や大丹生嶽が伶し、假松のかげから母性愛のシンボルとまで言はれる雷鳥が數羽の雛をつれて注意深く現はれる。この山の名物である鷲と、雷鳥と、女性——僕はこの三つの中から何時も乘鞍の面影を念ふ。なほ此所に秘められてゐる駒草の群落、繊細な處女のやうな神經の塊つてゐる駒草、こゝも快い印象である。僕は毎夏登所で旬日を過すのが例である。乘鞍の麓は僕の濁り所の郵夕はよく僕の濁り血を洗滌してくれる。

×

昔、上高地へ行くには必ず通らねばならなかつた。徳本峠一帶は小野的な、浪漫的な感が深い。徳本峠の茶屋で鶯の聲や、天水桶に落ちる雨滴の音を聞きながら僕は最初のシネマを試みたことがある。飛騨高山松倉の城主三木休安の弟秀綱は秀吉の臣である金森長近に攻められ、夫人子供侍女等と平湯から阿房を越わ考へねばならないのに、それて落ちたが、人目を避けてれども気が付かず、おのれ秀綱は夫人に侍女をつけて別れた。そしてこの徳本峠にかゝつた夫人は柿の木に縛られて無殘な死を遂げた。

×

その祟りなど語られてゐるこの谷は今も暗い。峠から澤を下る時上る時、何度通つても又どんな天気の良い日でも、どんな立木の有る所でも僕は明るい気持になる。何時かに濕つた空氣が流れてゐる……。

戰影抄

福田英一

（下）

○滅ぼゆき！國ぬもひゞをれば果てしなきことの如くにつぎつぎにまた

○わが呼び！聲もしづみぬ青葉谷わにらゝ鳥の背の寂しき

○山中の明るき道にうつりたるわが影に目鼻もあるが如くに

○眼闇のろげ夜は砲火を思ひつゝ又聞きてをり或る夜は雨を

○假繃敵機といふをきかせといちづなる子の眼に見ゆるはまこと敵愾か

賀佐翁古稀

歌壇　小野蕪夢

多年奏因議
個謂風抽偏
童觀却老人

講談

恩讐無道

154

我孫子多郎

香川三十代藏

異人の夢

まま、ゐのれが踏みしめてある大地を中心にして、どんなことが起るか？

瞬間にそゝを察して（しまつた！）

と、腹の中で後悔したが、もう遅い。

相手には、伏兵がゐつたのだ。迂闊にも自分が、こゝの甘い誘ひにうま〳〵乘つたことを、惣介は誰にもなく赤面した。考へてみると、誰が一面識もない男に大事を打ち明げるであらうか。

そこに、何かあるとを、スッパリ取れつていふんだ。

『……』

惣介は、無言のまゝ周圍を見廻した。

自分を取卷いてゐる人影は、意外に多く、十二三あつた。しかも、彼らのすべては、手に手に手ごろの獲物を提げてゐる。

それと見て、それまで對抗的構へてゐた激しい氣力をにはかにゆるがして

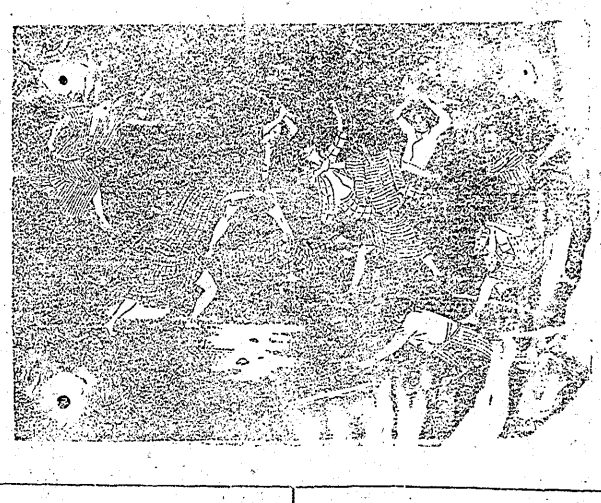
『兄貴、これアいつてね……』

と、弱々しくいつた。

逃げられるだけ逃げやうと、氣になつたのだ。無駄な争ひは避けねばならぬ。

『やツ』

素早く身を躱へすと、いの影は、あと三間も向ふ



まだ、ニタリとしてゐる

『お前も、案外頓馬な奴だ』

『お前の賭場でスッカラカンになつたからいつたな？笑はせるねぇ。俺アお前のは…… 時から、すッと目をつけてゐたんだ。おい、お前はいくら負けたといふんだ？』

『……』

惣介は突きのめされたやうに、ハッとしてゐる。

『どうだい。これでもまだ俺にものをいはせる氣か』

その言葉が、まだ終り切らぬ時である。

もどかしと見たのか、人影のひとつがサッと惣介に打つてかゝつた。

『やッ』

そこに、何かあるとを、スッパリ取れつていふんだ。

『……』

惣介は、無言のまゝ周圍を見廻した。

自分を取卷いてゐる人影は、意外に多く、十二三あつた。しかも、彼らのすべては、手に手に手ごろの獲物を提げてゐる。

それと見て、それまで對抗的構へてゐた激しい氣力をにはかにゆるがして

『兄貴、これアいつてね……』

と、弱々しくいつた。

逃げられるだけ逃げやうと、氣になつたのだ。無駄な争ひは避けねばならぬ。

『やッ』

素早く身を躱へすと、いの影は、あと三間も向ふ

わからねねが……何かあッに飛んでゐるのだ。

『やつぱり、さうだ！』

男が叫んだ。

それと一緒に、待機してゐた人影は、一斉になだれ寄せるのである。

『理不盡』

と、その時はもう、颯爽と、昔の深見惣介に戻つて

一瞬にして、そこの黒い大地へ四人の男が叩き伏せられて、ウン〳〵呻いてゐた。

無頼の男たちは、それに乗じ敢されたたやうに、遮二無三打つてかゝる。

そこへ、駆けつけて來た人がおつた。

『待てッ、おい、待ッッ』

喚きつづけて、爭ひの渦中に捲き込まれた男の顔を惣介が見ると、それは、田原金四郎なのである。

天氣豫報

小名浜測候所調査

今晩　南東の風晴
明日　夕立模様
明日　同じ

中に、悪いところもあるつていふのか？』

煙草を出して口に咥へてゐた相手は、暗くニタリとした。マッチをする間も、重苦しく默つてゐる。

掌の内側を染めて、マッチの軸に火がつくと、下あごに、昔の深見惣介に戻つてゐたやうな傷あとゐる彼だつた

の殘つてゐる顔が、瞬間に宙に浮き上つて消えた。

『そいつを、俺に聞くてはねねだらう』

といふ。

『はゝはは。手間取らせる男らしくねえ話だ。胸に手を置き、すぐわかることなんだ』

『といふと……あッしが、何をしたつてことになる』

『ふゝん、白を切るねえ』

優等賞受領
登錄商標
稲萬歳
稲妻
植田酒
古川酒造店醸
電話一六番

おでん、やき鳥
小鳥焼も初めました。
お酒のあとに
おけさめし
平市三田小路（三丁目裏）
おでん
茶めし
酒の家
味郷

アイスキャンデ　一錢
當店獨特
ミクルカクテル　一個五錢
お客様のお茶代り
お幾等にても御居けいたします
五丁目
賣子さん募集
吉田屋
キャンデー部
電話二二〇番

醫學士　吉田久雄
平市紺屋町　電話六八番
吉田眼科醫院

事務用ソロバン
神國式
商標用ソロバン（雲州産）
優勝印
事務用ソロバン（播州産）
共にソロバン中の一流品で御座います、仕上りがガッチリして而もお使ひ易地頗る宜しくあります
尚、ソロバンでしたら大小、とり〳〵小學生用も多種入荷いたして居ります
平市才土小路
代理店　魁文堂
電話三一三番

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地（醫務署通り角）
（醫診療所　平市六丁目）
外科一般
內臟外科
性病
肛門病科
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九番
◎入院應需

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◇堅實な營業方針の サロンのお客様は當地一流の方々です
◇色々な方に接することが社交儀禮の實際に學び、成功の糸口となります
調理見習人
婦人
◇許定のサロンの調理法を御傳授致します
◇見習ひとして調理場に御勤務出來る婦人に限る
◇14歳以上30歳迄の健康な方
◇3年以上勤續出來る方
◇紹介者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
サロン
電話529

合名會社
大三和
東京上野驛前
下谷郵便局横（角）
電話アネ隠六七七番
御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髪　オゾン美顔術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髪洗毛
美爪術電話六七八營業所
五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平市田町一番地

國は二ッポン・魚は凍魚
卸小賣
日本水産特約
平製氷會社
（電三六・三六）
配達八一尾一箱より迅速に致マス。
ヒマル凍魚
平代理店
即魚問屋
四丁目
電五二八番

清涼の
小瀧は招く
一日の清遊には……
どうぞ小瀧へ！
お迎へお送りに輕快な馬車の用意があります
鐵道指定旅館
割烹　小瀧
電話小名浜一〇三

平病院（平市元共濟病院跡）
電話六四一番
院主
院長　醫學博士　鈴木定藏
內科
小兒科
內臟外科
一般外科
皮膚尿泌器科
レントゲン科
物理的療法科
院長　鈴木定藏
副院長　高橋俊幸
藥劑科部長　吉本孝平
……診療……毎日午前八時より午後九時迄・夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）
……時間……

稲荷丸　皇漢オルモン藥
◆腹痛……には三粒デキキマス
◆胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキマス
◆小兒の諸病……一日三回のませて見れば驚妙な作用で健康体となる
◆心臟病……少しの運動にもイキ切れ下さいツキの高い方御實驗下さい
◆自動車酔……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◆肺炎……一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す
キキメ
定價　四十五粒一壹圓　二百七拾粒貳圓五十錢　五百五拾粒五圓
茨城縣笠間町（稲荷神社前）
イナリ丸本舗　金子製藥所
——代理店——
平市宮町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

月曜論壇

平署の肅製工作

警察機能發揮の必要程度は常に社會面に現はるる暗黒面の大小に正比例する。この意味に於て所謂厚序良俗の維持昂揚に就ては之が發動の最小限度をこそ理想とするもので平署が目下全市各層に向つて傳家の寶刀を箱走らせてゐる賭博狩りは、恰も國民精動の總力戰下に際し特に從來曾て無い大量檢擧なる點に於て吾人として深く考へさせらるるものがある。惟うに國法の禁ずる行爲中恐らく世に賭博程度の程度迄公行さるるものが無く、而も偶然の輸贏を以て人生の最大享樂とする非法治國民的徒輩は當然十二分着で歸還した旨に入つた精神病人の如何とも救濟する術が出來ず、適々當局の取締りが長い間の傳統として寛厳宜しく、長鞭馬腹に及ばざるに嫻ま過ぎず嫌ひがあり、一家の經濟を危殆ならしめ延いて家庭の平和を紊る等その因つて生ずる弊害に就ては其筋の腐心は云ふ迄もなくあるも大衆の禦遮措かざる處であり、今日の非常時下に於て平署が敢然之が掃滅に手を染めたのは時局柄寧ろ當然の措置と云はねばならない。即ち今回の疾風迅雷的檢擧が其の道の不心得者に對し如何に自懲他戒的の最大の効果を齎したか、身から出た錆とは云ひ乍ら酷暑中の拘束に喘ぐ彼等何名かの苦惱も一面同情に値するものあるが、其の得失を相殺して世道人心の上に收穫する處蓋し絶大なるを信ぜざるを得ない。只此際稍に照々たる現行犯以外遡去の迷妄を清算して徐ろに改悛の情程に在る一部か一種の先入的黒表に殃されたるなきかの想像が無いではないが、これは神ならぬ人爲的の肅正工作たる以上細故の錯誤を恐れて大局の正鵠を誤らんとする當局として眞に已むを得ざる事に屬し、一般はその當否に就き斷じて皮相の見を云爲すべきではあるまい。この一大突風來を機會とし各方面の戒心一當を望んで止まぬ

覇權街道横つ飛び
磐中全敵手を屠る
昨日の濱三郡劍道戰績

既報、濱三郡中等學校劍道大會は昨十六日午前十時半から新山町双葉中學校道場に於て開催、磐中平商からも正選手各七名補缺若干名が勇躍出場したが戰績次の如く磐中は一回戰より頗るコンデション良く終始各一點宛を勝ち越して一路覇權街道を横一飛びに敵三校を封じ凱歌颯爽午後六時二十二分着で歸還した

リーグ第一回戰
双中 3—4 磐中
第二回戰
相中 6—1 平商
第三回戰
磐中 4—3 相中
第四回戰
双中 4—3 平商
第五回戰
相中 4—3 双中
第六回戰
平商 3—4 磐中

尚は得點數は1相中十三點2磐中十二點 3双中十點4平商七點の成績であつた

人絹中毒下火

既報錦村吳羽人絹工場の中毒患者は十六日更に十五名の新患が出たが漸次全快して目下の就寝者は二百十八名に減じた

サア愈あすから
銃後緊張をこゝに
防空訓練本格化

銃後の緊張をこゝに集めて防空本演習は愈よあすから、市で營め一昨十五日から家庭防空群の指導其他之に備へ、けふは本演習四日間の綜合準備訓練にもう即の七時から警報傳達のメガホンが走る筈灼熱の下まさに非常時訓練の舞場面が展開された、砂、水、遮光幕等々、あすから始まる「耐熱防空訓練」の用意はよいか

當局では若し書間假製敵機が飛來せぬ場合は城北から風船玉を飛ばして狀況を現示する豫定である

軍用伊護馬 郡下本年度軍用保護馬檢定日割左の如し

八月十一日植田、磐崎
△十二日泉△十三日湯長錦△十四日勿來△十五日山田、川部（以上植田廠市場）△十七日上、入遠野、田人（上遠野小學校）△十八日平、好間、夏井△十九日上下小川△二十日草野、鹿島△二十一日神谷、内郷、笠輪、永戸△二十二日赤井、江名△二十三日飯野、小名浜、湯本△二十四日高久、豊間、玉川（磐中校）△二十六日大浦△二十七日四倉大野（久の濱小學校）

長橋壯年團結成

市内長橋町では三十才から五十才迄のもの五十一名で壯年團を結成、十七日午前五時から鎮座尼稲荷社前で結團奉祭をむるため今十七日から三日

磐炭町田坑閉鎖
從業員六百六十餘名を新職場に配屬

最近の人不足を征服し乍ら極力銃後の石炭增産に邁進しつゝある磐城炭礦では昨十六日を以て内郷村大字宮所在町田坑の閉鎖を行ひ所屬勞働者六百六十五名（内採炭夫三百二十八名女十五名）は直に綴、住吉、長倉の新鋭各坑に分け最も能率的に夫々配屬する事となり採炭夫、選炭婦に對しては本日より新職場に就かしめ

常備夫を以て今後二週間豫定の殘務整理に當らせる事になつた

同坑は明治三十一年一月の起工開鑿に係り一時は同社の主要坑として曾て湯本から移轉直後の礦業所々在地たりし事があつた程同社關係各坑中有力の資源をなして今日に至つた

轉坑手當を支給
關係者に社告を配る

新東亞長期建設の今日、お國左記轉坑手當を支給中で持久の覺悟が最も大切である旨を骨頭に今回の轉換に關する社告を關係全從業員に配つた同社では長い間働いた町田坑から更に希望に滿ちた前記各方面への移轉に際し一段能率の發揮を求むるため今十七日から三日

（坑内）採炭夫男三円女二円支柱二円、運搬二円二十錢、機械夫工作夫二円五十錢、雜夫一円五十錢
（坑外）雜夫女七十錢乃至一円、小川村から各一名が檢つて再び一旦檢擧を繰けるものと見られる

老爺縊死

市内杉平字行商鈴木淺吉（四九）は十六日午前五時頃自宅で縊死したと一人息が三年前鐵道で殉職して以來惱みの日を續けて

人魚は躍る？
各濱昨日の曜賑ひ

釜中の暑熱から逃避し、兼て海岸は終日人を以て埋まぬて体位の向上に資する！つた程で平驛の乘降人員は一石二鳥の海水浴は水銀柱乘三千九百四十三人、降四の奔巒今夏第一の昨日曜を千二百二十七人で平日より以て俄然その最高潮に達した。市内及び公休に惹まれた炭礦方面からの殺行きは朝來引きも切らず、此の日を當て込む自動車はその都度館詰の鈴なりの超滿員で全然ダイア抜きの運轉を繰けたが間に合はず、途中からの乘車は拾ひ切れず殆んど素通りの狀態であつた。水名濱、泉（劍濱）四倉、久

海水浴で用心
水魔は手招く

市内材木町古物商半島生れ横田太郎こと鄭鳳（四二）は十六日午前十時頃草野村新舞子の海水浴中心臟麻痺で溺死

十六日正午頃植田町岩間海岸で同町大平正次三男金三君（八）が友達と水泳中溺死、夫半島生れ張鳳基さん（三三）は以前川崎市福井組に歷代中よりとして出來心から

檢擧百名突破が
底なしの賭博事件

去る七日の事變記念日に手を染めた平署の博徒狩りは昨後檢擧の手を某方面に向けたが、防空訓練の關係で一時鋒を收め演習終了を待つて再び一網檢擧を繰けるものと見られる

總人員實に九十二名更に從來は黒シャ紙を使用せられて居りましたが、値段及大きさの點で、より一層廉価な黒色紙が出現しました、何卒御利用願上げます。

黒色 燈火管制用紙
6.3円×3.1円
一枚 金十錢

寄附

市内平窪鈴木キン小野ヒロさんは各四圓を、故矢吹長貴軍曹の遺族より十圓を國崎第四分會事業資金に寄附

献金

赤井小學校高等科一年生半澤キヨ子

張さん更生の姿
半島同胞の面目を施す

見よ

新入荷品御案内
マルトモ書店

黒色 燈火管制用紙
6.3円×3.1円
一枚 金十錢

電燈にガバー
窓に管制紙
間模範管制

郡下三ケ村を選び
「体力管理」初實施
物心兩面の向上を期す

新制度の知識

物心兩方面の綜合的向上を目指す國民体力管理制度については先づ本郡植田、神谷、鹿島の一町二ケ村を選んで初實施の運びに至つたが、次は管理制度の概要及びその趣旨である。

概要

從來われ〳〵個人の体力向上に就ては、各自の自由に放任されてゐたやうであるが、國民の体力は國防上より見るも、將又産業上より見るも、國力の根基を爲すものであるから、國家か或る程度まで之に關與し、これを善導し、以てその向上を圖ることは極めて緊要のことであつて、本制度はこの趣旨によつて制定せんとするものである、而して本制度の骨子とする處は、國家に於て國民の体力檢査を行ひ、その現狀を明かにしこれが結果に基いて全國的に、或ひは地方的に對策を樹立し以て國民体力の缺陷を是正して、集團的にその向上を圖ると共に一面檢査を受くる者に對しては個別的に適切なる指示を與へ、以て國民個々の体力向上を圖らむとするものである。本制度の所謂「体力」に就ては檢査の内容に關係があるので簡單に述べると茲に言ふ体力とは、一般に用ひらるゝよりも廣義な綜合的觀念であつて、形態的方面、精神的方面を包括する、

形態的方面とは身長、体重、胸囲等所謂体格と稱せらるゝ方面、精神的方面とは所謂知情意と稱せらるゝ方面、機能的方面とは作業能力、適應能力等と稱せらるゝ方面を指すのであるが、この三方面は各分離したものでなく、一の体力を異つた方面より見たものに過ぎない。

（續く）

家庭料理 けふの献立
平保健所栄養指導員 成田君子

（調理法）鯨は三枚に卸し二分位にそぎ切とし、塩を少々なし、紫蘇の葉の表を裏にして鯨を包み揚げ扇で止め、片栗粉の衣をつけ揚げる、茄子は二分位の輪切とし中に切目を入れ、片栗粉をつけ揚げ大根卸しを中にはさみ二切合せる

鯨の紫蘇卷揚
おろし茄子
鯨 六〇瓦中一匹
茄子 三〇 普通大半分
大根 二〇 約五分位
油 一〇 二、七匁
片栗粉一〇 大匙輕一杯
紫蘇の葉適宜
計蛋白質一二、一瓦
温量二〇〇カロリー

新式遮光完全
防空用紙

新川町 松崎商店 電一七二

新盆の戒名入提灯

例年の通り御安く御注文に應じます
戦歿勇士の戒名入り御靈燈は特に御安く致します
弊店の提灯は……體裁が良くて値段の最も安い事は自分の製造仕上げをする事と場所が不便の爲で有ります

平市揚槌小路 金子提灯店

高久病院

平市田町（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽榮
藥劑士 佐竹榮
内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

お醤油は……ヤマフル

醤屋 山崎合名會社 福島縣平市 電話（營業部一〇番 本店二七番）

味噌醤油 たひら正宗 經師食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

強い自轉車とリヤカー
フタバ商會

新川町郵便局向

皮膚科 泌尿器科 性病科 専門

診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町 醫學博士 江尻醫院 電話六九一
入院隨意 江尻伊三郎

電燈カバー

一個 十二錢
電燈にガバーを御使用なれば一瞬窓に管制紙間模範管制です

廣告

おでん たつた揚 やきとり
一平

電話二六三番

「貯蓄は無盡で」
三行圓
一歩一歩空の山
社会が淋しいから泣くうち
無盡やけさしう今のうち
磐城無盡

一白 空想をたくましふする時は實利に遠かり行くべし▲二黒 心を靜め節約の旨とし從來の業を守るべし▲三碧 けん遜自重するときは災ひも福と成り來べし▲四綠 除惡して時運の開進し來る時か待つが安全▲五黄 横走りせず素直に歩み行を安全とす▲六

十八日
【小名浜個人所報】
過潮前二、五五 午潮前一〇、二〇
過潮後五、〇五 午潮後一〇、一五

舊六月 火曜 新七月十八日
丙辰 先勝 大安 二黒
翌日 大安 二黒